

# 平成25年度局配分枠予算について

行 財 政 局

## 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

行財政局配分枠予算は、物件費 3.2%、人件費 35.7%、公債費 41.3%、繰出金 19.8% となっている。

このうち、行財政局の事務運営に要する物件費は、大部分を内部管理費や維持管理経費が占めているため、市民サービスの低下を招かないことに留意しながら、それぞれの事務執行を改めて精査し、更なる効率化を行った。その一方で、東日本大震災を踏まえた防災対策を推進するとともに、京都ならではの歴史や文化芸術の継承・発展や京都経済の再生を支えるための仕組みづくりのための予算など、選択と集中による限られた財源の配分に努めた。

人件費については、24年度予算編成時に引き続き、必要額の精査を行いながら、事務事業の見直しによる職員定数の削減や給与改定、清掃職務給の廃止などを実施し、人件費の抑制を図った。

公債費は市債償還のための経費、繰出金は公営企業をはじめとした特別会計へ負担金等を繰出す経費で、それぞれ、24年度同様に必要最低限の額を見込んだ。

## 2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

### < 新規事業 >

(歴史資料館) 岩倉具視特別展の開催	400 千円
(防災危機管理室) 災害対策本部機能の充実	4,500 千円
(契約課) 公契約基本条例に関する調査	1,000 千円

### < 充実事業 >

(歴史資料館) 市政史編さん事業	
全体事業費	11,308 千円 (うち充実分 3,000 千円)
(芸術大学) 教員研究費の充実	
全体事業費	37,100 千円 (うち充実分 12,415 千円)